

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	王 明君
主な担当科目	音楽基礎演習,初級音楽(理論),音楽基礎演習,基礎音楽(理論),音楽研究法基礎,基礎西洋音楽史,初級西洋音楽史,西洋音楽史特殊講義
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	本年度は久々にコロナ前とほぼ同様の条件のもとでの授業開始となった。留学生の数が大幅に増えたことにより、学生間における学習能力の差が開くことが懸念される。また、それだけではなく価値観やモラルに関する意識の差も大きくなることが予想される。私が担当する授業の内容に留まらず、日本の大学で日本人の先生方のレッスンを受けるにあたり失礼が生じないよう、広範囲にわたる指導を目指したい。
2023年の教育に関する自己評価	当初の予想通り、学生の増加に伴い様々なレベルの学生が同じ授業に集合していた。時間を守る、予習復習を行う、授業に集中する、という習慣が入学前から身に付いている学生と全く身に付いていない学生の両方が存在している為、どのレベルに標準を合わせて授業を進行するか、以前にはない難しさを感じながらの授業であった。授業内容の大切さはもちろんのこと、日本人の先生方、日本人の学生たちとお付き合いをする上で大切なこと、モラル、マナー、価値観の相違により注意しなくてはならないこと、学習方法など様々な面での指導とフォローを行うよう努めた。
2023年のFD活動に関する自己評価	教育目標と多少重複する話になるが、多くの留学生が入学したことにより、学生間における人間関係や能力の差など、様々な要因により学習意欲や自信が喪失される懸念が多くなった。私自信がかつて辿々しい日本語で壁にぶつかる思いをした留学生であった経験を活かし、せっかく本学に入学した学生が休学や中途退学という選択に至らぬよう、業務時間以外でも相談に応じるなどの取り組みを行った。
授業改善のために取り入れた研修内容	勉強会の中で「他者に対するリスペクトの重要性」についての話題があった。人にはそれぞれ特徴があり、得意なもの、苦手なもの、人によって大きく違う。教育現場に於いて、不器用なタイプの人間が差別されることがあってはならない。それは学生対学生であっても学生対教員であっても同じことである。教員として、どんな理由があれ絶対に人を見下さず、全ての学生に愛情を注ぐことを今後も心がけて行きたいと考えている。

2023年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2609 教員名:王 明君

1)アンケート結果に対する所見

今回の評価結果については概ね納得できるものであった。しかし、私が担当している学生(特に研究生)は、日本語の読解力にまだ乏しく、果たしてどこまでアンケート内容を理解して回答していたのか、掴めない部分も多い。

2)要望への対応・改善方策

上記と重複するが、改善要望を日本語で纏めることはまだ難しいと思われる学生も多いので、アンケート結果だけではなく対面などで相談を受けながら要望を聞いていきたいと考えている。

3)今後の課題

学生がそれぞれの夢を実現させるためには、技術、理論など幅広く習得しなくてはならず、地道な努力が必要である、ということをもっと周知させられるよう、今後も努力と工夫に努めたい。

以 上